

授業科目名	脳神経疾患患者の看護	担当者	中山 典子
単位	—		
時間数	7時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	疾患、病態を把握し、日常生活の援助と診療時の補助技術について学ぶ。経過別看護を理解し、援助技術を学ぶ。		
授業の概要	脳神経科疾患患者の看護では、①救命救急。②患者の進退の安全確保と保護、③二次的障害および合併症の予防、④機能障害の改善、⑤苦痛の緩和、⑥心理・社会的援助などを教授する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通する看護 経過別看護、アセスメント、安全確保、苦痛の緩和、二次的障害・合併症の予防</li> <li>2. 診察・検査を受ける患者の看護</li> <li>3. 症状および障害に対する患者の看護</li> <li>4. 脳・神経疾患患者の看護</li> <li>5. 手術(開頭術)を受ける患者の看護</li> </ol>		
テキスト	新看護学10 成人看護[2] 医学書院		
評価の方法・基準	終講試験 100点 腎・泌尿器看護のテストとの平均点にて評価口		